

FAX通信

いでは
こども感染症情報

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



17.9.14
週報第 656 号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第36週(9/4~9/10) (35週)	
	発生数(人)	前週との比較
川崎病	0 (0)	→
ヘルパンギーナ	8 (8)	→
感染性胃腸炎	23 (27)	↘
溶連菌咽頭炎	2 (6)	↘
咽頭結膜熱	3 (2)	→
水痘	0 (0)	→
RSウイルス	44 (50)	↘
手足口病	12 (16)	↘
突発性発疹	6 (1)	↘

(参考) 秋田県の状況 第35週(8/28~9/3)
<全県の発生状況>
1位：ヘルパンギーナ (全県で前週より87%増加)
2位：手足口病 (全県で前週より17%増加)
3位：RSウイルス (全県で前週より63%増加)
4位：感染性胃腸炎
5位：咽頭結膜熱
県内 警報・注意報
警報：手足口病(大館・由利本荘・湯沢)
警報：ヘルパンギーナ(大館・北秋田)
警報：咽頭結膜熱(湯沢)

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報(9/11)

疾患名	おたふく	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	手足口病	水痘	溶連菌咽頭炎	咽頭結膜熱	その他
施設(数)								
保育所・園(35)				1	3	4		18
小学校(22)								
中学校(8)				2				
高校(7)								
特別支援学校								

感染症情報収集システムより(人)

夏季の感染性胃腸炎に要注意

夏季の原因となる病原体は冬季に流行するノロウイルスなどのウイルスに代わり、「カンピロバクター」「サルモネラ」「エルシニア」といった細菌が多くなる傾向にあります。県健康環境センターの調査においても、これらの細菌の報告数が徐々に増加しています。

原因となる菌は、牛や豚などの動物の腸に生息し、菌が付着した肉や水で感染します。手洗い、調理器具の消毒を徹底する等、感染予防しましょう!

